



▲柳田さんたちが考案したコースを子どもたちが力いっぱい進みます

地面を蹴って進むペダルとブレーキのない子ども用2輪車。ランニングバイクと呼ばれるこの乗り物で、三原のまちを元気にしようと挑戦しているのが、駅前広場盛り上げ隊の皆さんです。

若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 06

ランニングバイクで駅前を元気に

駅前広場盛り上げ隊

代表

柳田 豊さん

寛子さん



代表の柳田豊さん、寛子さん夫婦が働くのは、港町にある創業70年の老舗自転車店。「祖父の代から駅前で商売をし、街が栄え、そして元気を失っていく姿を間近で見ても」と寛子さん。「自分たちでも

前に初開催。その間、他の大会を視察したり、参加者からの要望を取り入れたりしながら、試行錯誤を重ねてきました。2年前からは市とも連携し、専門家の意見を聞くなど、より良いイベントにするために研究を続けています。大会ではご当地グルメの飲食ブースを誘致し、他の市民団体の活動も紹介するなど、三原のPRにも力を入れていきます。「アットホームな雰囲気や三原の過ごしやすさが評判で、

う一度、駅前を盛り上げたい」と思いついたのが駅前市民広場でのランニングバイク大会でした。早速、同じ思いを持った仲間を募り、3年前に初開催。その間、他の大会を視察したり、参加者からの要望を取り入れたりしながら、試行錯誤を重ねてきました。2年前からは市とも連携し、専門家の意見を聞くなど、より良いイベントにするために研究を続けています。大会ではご当地グルメの飲食ブースを誘致し、他の市民団体の活動も紹介するなど、三原のPRにも力を入れていきます。「アットホームな雰囲気や三原の過ごしやすさが評判で、

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

応募資格 市内在住・在勤・在学の人

選考 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



●撮影年月＝平成28年7月
●撮影場所＝久井稻生神社(久井町江木)



作品エピソード

当日は朝から雨が降っており、神楽殿で踊りが奉納されました。2022年に500周年を迎える久井稻生神社祇園祭。若い世代が紡ぐ伝統の姿と静と動、色彩が好きです。

撮影者

新舎 篤さん

繁栄と存続への祈り